

特集 3

国内における 金融・経済教育の推進

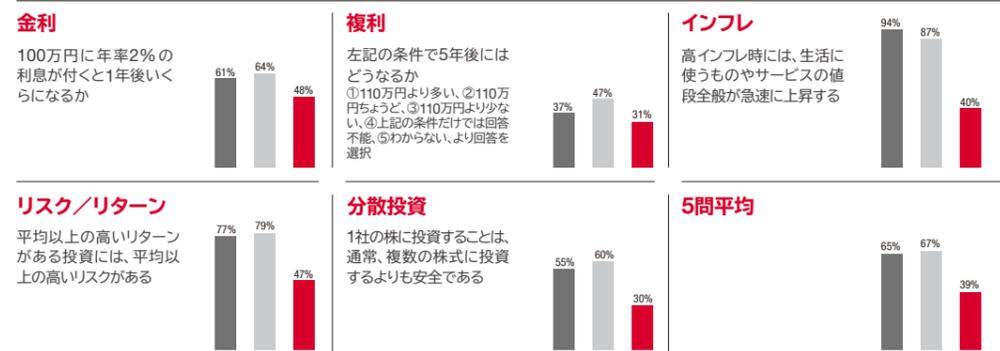
「貯蓄から投資を通じた資産形成へ」の後押し

急激な社会構造の変化に向けて、大きく変化する資産形成の在り方

日本は、少子高齢化と長寿化の進行にともない、資産形成の在り方が大きく変わっていく潮目にあります。資産形成には自助努力が必要となり、特に若年層に向けた、金融・経済教育は課題となっています。また、金融・経済に関する知識は、正しい資産形成のためだけでなく、長期的な視野で健全な資本市場の育成を行っていくうえで重要です。

野村グループは、若い世代に対する金融・経済教育に、国内においていち早く取り組んでいます。2001年に開始した大学生向け講座をはじめ、小・中学生から大学生、社会人に至る幅広い世代への教育・啓発活動に力を入れています。今後も、未来を担う子どもたちをはじめ、金融知識を求めている人々に、経済・証券教育の機会を提供することで、真に豊かな社会の創造に貢献していきます。

金融リテラシーの国際比較 (金融用語に対する理解度)



(出所) 英国、ドイツ: OECDの金融教育に関する国際ネットワーク会議参加国のうち英国、ドイツを含む14カ国が2010-11年に実施したMeasuring Financial Literacy調査より(訪問調査、電話調査)
日本: 野村総合研究所が2016年8月-9月に実施した「NRI生活者1万人アンケート調査(金融編)2016」より(訪問調査、全国の18-79歳の個人10,070人を対象)

目的・対象に合わせた幅広いツールを提供しています

幅広い世代を対象とした金融・経済教育に、教育研究会が2013年4月に公表した「生活スキルとして最低限身に付けるべき金融リテラシー」(金融リテラシーマップ)の各分野に対応しています。

野村グループが提供する金融・経済教育プログラム体系

	小学校	中学校	高校	大学	教員
実施目的	「お金」を身近に感じる	「投資」の意義を学ぶ	「将来」と「お金」の関係を学ぶ	「生きた経済活動」を実務の観点から学ぶ	金融・経済教育の実践
講座	為替・株式を学ぶ「まなぼう教室」	投資家体験「投資って何?」 起業家教育プログラム「Nomuraビジネス・チャレンジ」	ライフプランを学ぶ「自分の将来とお金の話」	寄附講座「資本市場の役割と証券投資」	教員向けセミナー
ゲームで学ぶ株式講座	「投資」の意義を学ぶアニメを使った親子向け講座				
学習教材(無償配布)	「街のけいざい教室」「社会のしくみとお金の役割」	「街のTシャツ屋さん」	「STOCK FANTASY」	寄附講座(参考図書)「証券投資の基礎」「日本の資本市場」	「社会のしくみとお金の役割」教師用副読本
出版物	「ニャン太とお金の冒険」「日経STOCKリーグ チームで挑戦! 株式投資でアクティブ・ラーニング」				
協賛プログラム	「証券会社図鑑」 株式学習コンテスト「日経STOCKリーグ」				
インターネット	投資初心者向けバーチャル投資プログラム「日経未来投資プログラム」 経済学習サイト「man@bow! (まなぼう!)」				

金融リテラシーの向上に向けて教育分野への取り組みを拡大

当社の金融・経済教育は、「経済・テクノロジー」の分野で東京2020公認プログラムの認定を受けています。2017年3月期には全国104の大学で金融教育講座を実施しました。また親子で参加できるプログラムや高校からの要望が高かった起業をテーマにしたプログラムを開発しました。全

国47都道府県にわたる拠点網をベースに、支店や地域の方々とも協働し、日本全国の学校で出張授業を行っています。金融のプロである社員との触れ合いを通じて、子どもたちには、金融や経済に対する理解を深めるとともに、将来のキャリア形成にも役立ててもらいたいと考えています。

各プログラムの実施状況 (2017年3月末現在)

プログラム	提供開始時期	回数、実施数など	累計参加人数
日経STOCKリーグ	2000年	チーム数:26,118チーム	10.4万人
大学向け金融教育講座	2001年	参加校:1,758校	22.8万人
社会人向け金融学習講座	2003年	回数:7,850回	39.2万人
出張授業(小学校、中学校、高校、大学、教員)	2008年	実施数:1,066件	4.3万人

累計
76.7万人

学習教材の寄贈実績 (2017年3月末現在)

教材	提供開始時期	2017年3月期	累計
小学校向け学習教材 ('街のけいざい教室'、 '社会のしくみとお金の役割')	2008年	学校数:378校	4,048校
		発送部数:25,503冊	308,111冊
中学校向け学習教材 (「街のTシャツ屋さん」)	2006年	学校数:56校	4,778校
		発送部数:4,664冊	452,660冊

累計
76.1万部



効果的なプログラムの実施のために、地域の教育コーディネーターとも協働して出張授業に取り組んでいます。また、学生団体主催の勉強会に社員を講師として派遣するなどの支援も行っています。



親子向け講座
2017年3月期はアニメを使った親子向けプログラムを開発し、15支店で実施しました。



復興支援の一環として、被災地の中学生向けに出張授業を行っています。熊本県では「将来の夢」についても話してもらいました。



特別協賛プログラム

日経STOCKリーグは、中・高・大学生を対象としたコンテスト形式の株式学習プログラムです。野村グループは2000年の第1回から特別協賛を行っています。また、毎年100名近い社員がレポート審査員としてボランティアで参加しています。